

DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす



(有)シマムラオート(大宮東地区会)

島村 友基

SHIMAMURA TOMOKI

さいたま市見沼区七里駅近くで「初めての人でも安心して乗れる希少車」をコンセプトに4WDやファミリーカーの専門店として地域に根づく経営をしている島村友基社長。

経営者の息子でありながら、「商売がきらい」という若き頃を過ごしながらも、母親の「継ぐの？継がないの？」という言葉をきっかけに入社。

経営を任せられ10年経った今、自分の行動を見直す意味で経営指針セミナーに参加し、新たな一步を踏み出した島村氏に指針づくりでの学びとこれからのビジョンについて伺いました。(P5へ続く)

埼玉の元気を創る中小企業家 - 107

〔経営理念〕

「自他共肥」

- ・笑顔と会話があふれる専門家集団として
- ・お客様の安心で楽しいカーライフをサポートします。
- ・共に想い、共に学び、共に成長し、
- ・「関わる人の豊かさ」を追求します。
- ・努力をおします、結果に向き合い
- ・自ら誇れる企業を目指します。

2019 - 4 April
VOL.494 毎月1日発行

特集

第49回中小企業問題全国研究集会in長崎
時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践
～「人を生かす経営」を広げ、地域再生を～

<http://www.saitama.doyu.jp>

社長の®
学校

特集 第49回 中小企業問題全国研究集会 in 長崎



記念講演講師 高田氏

時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践へ 中小企業問題全国研究集会in長崎に1300名

2月21～22日、第49回中小企業問題全国研究集会(全研、中同協主催)が長崎同友会の設営で開かれ、47同友会(埼玉からは43名)と中同協、来賓など1324名が参加しました。

1日目は12分科会、2日目は㈱ジャパネットたかた創業者の高田明氏の記念講演と田上富久長崎市長の平和の講話から学びあいました。1日目に行われた分科会報告を幾つかご紹介いたします。

第11分科会(中同協・税制プロジェクト)

消費税問題の中小企業経営への影響とその対策はどうするか?

～中小企業・小規模企業の継続・発展のための税制～

報告者:沼田道孝氏(㈱第一経営相談所 相談役、中同協・税制プロジェクト委員長 埼玉同友会副代表理事)

報告者:新井俊雄氏(㈱アライ 代表取締役、中同協・監事、埼玉同友会元代表理事)

私たちが納めた税金は、健康で豊かな生活を実現するために、行政が行う活動の財源になります。税金は「富の再分配」「景気調整」「経済政策の推進」「国内産業の保護」の機能を持つと言われていて、このような税金を誰がどのように負担し、何に使われるか、私たち経営者ひとりひとりが理解していく必要があります。経営者として、「税制」のことを「わからない」「理解できない」ではなく、法律に基づいて課税される仕組みをもっと学ぶ必要があると感じた分科会でした。報告者は、副代表理事であり、中同協税制プロジェクト委員長の沼田氏。元代表理事であり、中同協監事も担う新井氏です。

沼田氏からは、中小企業憲章の前文や、昨年の女全交のキャッチ「私たちが次の時代を拓く力になる。誰もが輝く社会の創造」を引用し、税制にも理念が必要であると唱えています。さらに「公平の税制を目指して」という学習討議用資料等

を元に、この秋10%に上がるとされている消費税についての課題として、経済対策、軽減税率の影響、インボイス制度導入の影響等の問題提起がありました。

それを受け、新井氏からは消費税と酒税、酒類業界の規制緩和に対応した自社の変遷、さらには自社における新しい価値の提供についての報告がありました。

質問の半数は「インボイス制度」について集中し、沼田氏からとても丁寧でわかり易い説明がありました。

グループ討論では、「消費税問題をどう考え、対応・効策し、企業づくりをすすめるか」「中小企業発展のための税制をどのように考えるか」と言う二つのテーマで、活発な議論が行われました。

この消費税アップという問題をきっかけにして同友会の学びを深め、経営指針を基に外部環境の変化に右往左往せず、まっとうな経営で立ち向かうこと。会員ひとりひとりが、地域と関わりながら考え、対応していかなければならないと感じました。

埼玉では、政策プロジェクトが次年度より政策委員会として強化されることになっています。自社と地域の「つながり」を今まで以上に考え行動していくためにも、フレッシュな経営の数多い参画が期待されます。(川口地区会 小松君恵 記)



第1分科会(中同協)

社会・経済・技術の転換期における 中小企業経営

～有機的連帯(同友会)の可能性～

報告者:藤岡資正氏

〈明治大学 グローバル・ビジネス研究科 専任准教授〉



昨年、東京同友会会員(株)浜野製作所のGarage Sumidaで行われた中同協企業連携推進連絡会に参加した際、タイのチュラロンコン大学で教鞭をとられている藤岡先生の分科会を中小企業問題全国研究集会で行うと聞いて参加した。10年ほど前から大阪同友会の会員たちがタイに交流の場を持っており、現地で藤岡先生にお世話になっているという。藤岡先生は2018年11月から企業変革支援プログラムのアドバイザーにも就任している。

生まれた時から10年ごとに、廿日市(広島)、オクスフォード(イギリス)、シカゴ(アメリカ)、バンコク(タイ)と生活してきた。外から日本を見ていると、世界の成長に比べて、日本はどうしたの?という感覚。視座を高く、視野を広く、視点を明確に、「個」の確立と有機的連携の可能性を探るべき。そのためには10年、100年、1000年と変わらぬもの、変わるものを見定め、適切な問いの立て方や知の創造のあり方を考え、考えるために動き、適切な問題意識と危機意識を持つべき。「桶狭間の戦い」や「本能寺の変」など「盛者必衰」、「諸行無常」といった教訓を日本人は知っている。学習のサイクルをスピードアップさせよう。

新興国アジアの台頭を理解し、アジアと日本から、アジアの中の日本へ、アジアでの価値創造と価値共創を考え抜く。日本は少子高齢化と国の借金の課題先進国。長崎の先人に学び、機軸をしっかり持って、地図がなくてもコンパスがあれば動ける企業家へ。アジアから日本を見つめ直し、課題を解決するためのソリューションを提供しよう。中小企業家同友会のプラットフォームを生かして、異業種連携の塊となって選んでもらう力を磨きあおう。

仕事づくり委員会では有機的連携を生む異業種交流の実践を行っています。(大宮東地区会 菅野孝治 記)

第6分科会(長崎同友会)

今時代に必要なものは

～なぜ長崎はダイバーシティ委員会へ変わったのか?～

報告者:中村こずえ氏

〈(有)エス・ケイ・フーズ 取締役 副代表理事〉

報告者:菅原千代枝氏

〈(有)菅原産業 取締役 理事・ダイバーシティ委員長〉



共に生き共に育つ地域と企業に今時代に必要なものとはというテーマのもと127名の参加登録で盛大に開催されました。

現在、人手不足が深刻な問題と捉えられています。「募集をかけても人が来ない」このまま、待っていて良いのでしょうか?働きたい人が本当にいないのでしょうか?ダイバー経営の考え方は?長崎同友会のダイバーシティ委員会では、人を生かす経営の実践こそ、多様な人材を生かすことができ、共に生き共に育つ企業づくりができると考えます。異業種の集いである同友会こそがダイバーシティ!

ダイバーシティとは「多様性」を意味し、労働分野においては雇用の機会均等(多様な働き方)をさします。日本独自の雇用慣行を採用してきた日本企業、新卒一括採用、年功序列、終身雇用、男性上位。しかし、少子高齢化による労働人口の減少が進む中で、女性や高齢者、障がい者も活躍できる社会の実現が目まはっています。

鎖国時代唯一開かれた長崎。日本と中国、そしてオランダ文化の融合を和蘭文化と呼びそれを継承して来ました。長崎自体がダイバーシティなのです。

自社では障がい者の雇用はしていないので、グループ討論で障がい者雇用に至った経緯や、障がい者雇用のあり方、障がい者を雇用して社内がどうなったのか?また、障がい者雇用を始めるにあ



▲左:菅原氏、右:中村氏

たって社内での反対意見や批判的な意見がなかったのか?などの質問をしましたが、中同協障がい者問題委員会 比嘉あみ子氏が第10グループに同席していたので、質問に対して丁寧な説明がありました。社員が怪我をして障害者になったら何とかしようと思うでしょう、それと同じですというお話もありました。人を命として捉える事で差別をなくしましょうという事です。笑いあり、涙あり、歌ありの分科会でした。

(戸田・蕨地区会 石井 孝徳 記)

第8分科会(京都同友会)

理念を掲げ、挑戦続けて20年、
人口8万、地方都市での攻めの経営

報告者:堀昌彦氏(㈱HORI建築 代表取締役)



「攻めの経営」とは一体どういうものなののでしょうか?

報告者の㈱HORI建築・堀氏の工務店創業当初は従業員や協力会社に対していわゆる「駒」と捉えた主従関係で経営されていましたが、同友会と出会い、そこで得た気づきを少しずつ実践していきます。しかし、社内整備→後回し。社員満足→なし。自己犠牲で成り立つ労働環境。ついに若い社員からの社内改善案。「このくそがきや!」と思うが、現実を知ったと堀氏。ここから会社が大きく変わっていく様が素敵でした。

販売主義から幸せづくりへ。

工事着工前にお客様へ現場監督が職人たちとともに良い仕事をしますと宣誓。現場は作業中でも常にキレイ!「魅せる現場づくり」に取り組みます。竣工後にはお客様との出会いから着工、工事中、そしてお引渡しまでの映像が入ったDVDを職人たちとともに鑑賞、そしてお客様にプレゼント。報告の中でもDVD拝見させていただきました。(㈱HORI建築=

協力会社=お客様、三位一体の家づくり。涙が出そうになるくらい感動しました。まさに、幸せづくりを実践されています!そして、地域を支える人を育てたいということで子供たちに木造建築の組立を体験させるなどの活動も行っており、まさに「国民や地域とともに歩む中小企業」(㈱HORI建築!

グループ討論テーマ「自社の強み・弱みは何ですか」ではテーマを通じ、経営者としてのこれからの進むべき方向を、そして建設業の今後の未来について意見が交わされました。

「攻めの経営」とは、不易流行・人を生かす経営・付加価値を高めるなど建設業の明るい未来を切り開く武器を駆使し、みんなの幸せのために邁進していく経営なのだ!とみんなが共感しあえる素晴らしい分科会でした!

(むさし野地区会 糸賀淳 記)

参加者の感想

- ・今回の分科会で、大手にはできない事、中小だからこそできる事を強みとし、地域のオンリーワン企業となるために、何をすべきかを徹底的に社員と話をしてみようと思った。
- ・今回の分科会では、話し合えば話し合うほど奥深い課題で、単なる「外国人労働者制度」の問題ではない。労使見解の視点で、各企業が考えなければならないし、その時の世界の状況をしっかりと認識(グローバル視点)が必要だと感じました。
- ・記念講演をお聴きし、できると信じ継続すること、何を求めているのかを考えながら伝えることが大事だと強く感じました。パッション、ミッション、アクション、三つの「ジョン」の重要性を再認識しました。

《オープン学習会》リーダー研修会【社員教育委員会】

会員企業の管理職・監督職を対象に、12社18名が参加し、リーダー研修会が行われました。

部下と経営者の板挟みを解消する
コミュニケーション

報告者:小山明孝氏(泰清倉庫(株) 部長)

まず問題提起として、社員教育委員会小山委員長が経営する泰清倉庫の小山部長からお話がありました。「リーダーとして覚えておきたいこと(それぞれの価値観の違いなど)」「そのまま言えない言葉(上司から部下へ&部下から上司へ)」など、具体的ですぐに役立つものばかりでした。見学者の方々も「うちでも当てはまるものばかり」と納得していました。

報告を受けてのグループ討論では「現在の課題」と解決策「明日からどう変わりますか?」について意見交換しました。

課題の洗い出しでは、「ワールドカフェ方式」を採用し、繰り返しグループメンバーを入れ替えることにより、いろいろなメンバーとあ



ゆる課題について共有することができました。最近の課題として「指導がパワハラととられる」「年上の部下への対応」「上司からの指示が変わる/あいまい」などの声も聞かれました。

解決策の検討では、スタッフが口をはさむ必要がないほど、自分たちの問題として議論が盛り上がって

ました。

受講者の声としては「上司からこの研修の話聞いた時、今の自分にドンピシャだと思った」「最近悩んでいたことの解決のヒントを見つけた」「自分が思っていることを口に出せて気持ちいい」「これからも頑張ろうという気持ちになった」などが聞かれました。

最後の決意表明では、「まずは自分が変わる、そうすれば変わりも変わる」「一番の問題は自分自身」と、頼もしい決意が聞かれました。受講者の表情も、受講前の「不安・不満」から「自信・意欲」へと明らかに変わっていました。

(大宮南地区会 古木孝典 記)

埼玉の元気を創る 中小企業家

(有)シマムラオート(大宮東地区会)

埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1400
TEL 048-686-1842 FAX 048-686-0627
URL <http://www.shimamura-auto.com>



●同友会に浸かり直す

「同友会は参加している方々に前向きな方が多く、ネガティブな自分の気持ちに鞭を打ってくれる場」と話していた島村氏。

また、同友会は異業種の集まりなので、業界団体よりもいろいろな情報が集まる場でもあり、経営の視野を広げる場にもなっているそうです。しかし指針セミナーを受けるきっかけもなく、さらに所属する大宮東地区会ではここ10年指針セミナーの卒業生が出ていない。なのでセミナーの話を書く機会もなく受講のイメージが湧きませんでした。

そしてこの10年、自分なりの「人をいかす経営」みたいな事をやってきてそこそこの業績を残せてきたのも事実であり、必要ないと思っていたそうです。

しかし会長を務めるにあたって他地区会員との交流も増え、セミナーの話を書く機会が増え、良くも悪くも多少の興味が湧いたのが受講のきっかけ。

せっかく同友会に入会しているので一度どっぷり浸かってみて、それから同友会との付き合い方を考えようという事で受講を決めたそうです。



▲経営指針での一コマ

●すでにあった経営理念

経営指針づくりが進むにつれて「無い」と思っていた物がすでにあり、会社に浸透していたことに気づく。しかし浸透していたとはいえ、自社の経営に足りないものが見えてきたそうです。

そしてこれまでの経営を振り返り、良かれと思い取り組んできたことが従業員の負担になっていたかもしれない。従業員の頑張りによって経営者として甘えていたかもしれない?など、現在取り組んでいく事を見つめ直し整理する事ができたそうです。

●自分なりの人をいかす経営の結果

雇用した従業員には辞めて欲しくない!辞めても次の場所で輝く人材になってもらいたい!業界動向や業績ももちろん大切だったが、従業員と向き合ってきたこの10年。

気づけば10年間で退職者1名のみ。10年前には20代後半だった平均年齢も現在30代後半となりこのまま行くと10年後には40代後半となる現実に気が付きません。従業員と向き合ってきた結果、離職率の低い会社として安定した企業にはなったが、今後10年このままではどうなるかという不安にぶち当たりました。

これからも「みんなで楽しく働く」為に変わらない顔触れだけで無駄の少ない仕事はできているが、新しい発想とチャレンジに乏しくなり変化の激しいこれからの世の中で生き残っていけるのか?などを見直す大きな転換期を迎えていることに気づくことができたそうです。

●これからの10年

セミナー受講中に「なんで働いてるの?」と従業員に問いかけたという島村氏。「拾ってもらった会社をつぶしたくない!」というスタッフの気持ちを聞き、従業員と共に次のステップに進み新しい景色を見せてあげなくてはいけないと思ったそうです。

受講後は10年後には店舗数、売り上げ、利益のすべてを倍増させ、今いるスタッフのステージをあげ、新しい景色を見せる!と話し、スタッフとともに成長を誓っておりました。

そして10年後の55歳の人生に向けて再度出発した島村氏。創業と息子という同じ立場として、これからも勉強させていただきます。(大宮東地区会 柴田大智 記)



時代の節目に思うこと



岡村 志津子 (さくら地区会)
 (有)新堀工業
 埼玉県熊谷市三ヶ尻 3733
 TEL: 048-532-2521
 FAX: 048-532-2523



貧しさも 辛くない 四畳半にも 夢がある
 嘘をつかない約束で 肌を寄せあう二人なら
 死にましようか 生きましようか 生きましよう 生きましよう
 互いに 巡り逢えただけ この世の神に感謝して
 昭和最後の秋のこと 雨にうたれる彼岸花
 震える愛が 震える愛が まだあった
 (阿久 悠 作詞・浜 圭介 作曲「昭和最後の秋のこと」
 1990年代 桂銀淑、森進一が競作としてシングル発売。CD歌
 詞カードより引用)

突然ですが「昭和最後の秋のこと」という歌をご存知でしょうか。それこそ、昭和を代表する作詞家阿久悠と作曲家浜圭介の楽曲で、貧しいながらも良き時代であった「昭和」の夫婦愛をテーマに作られています。

いよいよ平成が幕をとじることになり、時の変化を改めて感じています。そこで、仕事に忙殺される日々のなか、自分の来た道をちょっと振り返ってみようと思います。

『昭和』だった頃

「昭和最後の秋」をどうやって過ごしていたのか、思い出してみます。

当時、遊び盛りの23歳だった私は、デザイナーズブランドなる服を身にまとい、世間なみに「ディスコ通い」など



に明け暮れていました。結婚相手は「三高」—高学歴・高身長・高収入—などと、己の身の程もわきまえず宣(のたま)い、「クリスマスイブをゴージャスに過ごす為の彼氏探し合コン」と称するものに参加。ただし、そのために節約しなければならなかったのが現実で、毎日の食事はガス代の掛からない納豆と食パンという、何とも浅はかでお粗末な日々でもありました。

日本の高度成長期と言われた時代に生まれ、どんどん食や物が豊かになる中に生きて、「流行」に振り回されていたのでしょうか。自分の夢や希望など、多分、無かったのかもしれない。

『平成』になったけれど

「昭和最後の秋のこと」を初めて聴いたのは、ほんの二年前。五十路を少し過ぎた頃でした。一びっくりした、胸が震えた、打ちのめされた一。曲調は、歌謡曲の部類になるのでしょうか。哀愁を帯びた曲に、桂銀淑のハスキーで情緒のある声の実によく合っています。そして何より歌詞に引き込まれました。すっかり忘れていた何かが、心の底から湧き上がってきたのです。そうだ!そうだ!自分はきっと、こういう心の充足感を追い求めているんだ!と。

歌を指導していただいているのですが、その先生の勧めで歌ってみました。

実は若い頃、シャウト系と呼ばれるハードロックに身を投じていたのですが、そのノリでは到底表現できる世界ではありませんでした。語り歌の難しさに直面することは、自分の人生の味気ない薄っぺらさに気づかされることでもありました。

そんな自分にとって、「平成最後の秋」は?語るまでもありません。値引きを迫る業者に必死で対抗している夫を尻目に、日々の「やる事リスト」に追い回され、また夢や希望を見失っていたようです。

それでも思えば、きょうがあることの根底には、「巡り逢えただけで神に感謝できる素朴で究極な愛」があったはず。どんな時代になっても、その思いを育てていく夢は見失わないでいたいと願っています。そして、弱気になったら歌を聴いて歌って、何度でも確かめながらいきたいとおもいます。

【女性経営者クラブ・ファミ 1月例会】



女性ならではの発想とは?

～地域医療による少子化への挑戦と働きやすい職場づくり～

報告者: 藤田 博子氏(有アイワメディカルサービス 代表取締役)
報告者: 内田 緒織氏(医療法人愛和会 愛和病院 経営総括室本部長)

6月に行われた女全交にて大好評を得た分科会企業の愛和病院の見学を1月25日に行いました。愛和病院は、分娩数が全国第2位、今年中に8万人目の赤ちゃんが誕生するとのことでした。

最初に病院内と産後ケア施設「パタニティ・マタニティハウス」を見学しました。

病院内もパタニティ・マタニティハウスもリゾートホテルを

思わせるおしゃれな雰囲気と、きめ細かい「おもてなし」が随所に感じられます。

見学後に、藤田社長の報告がありました。藤田社長は、無医村での開業医4年間の経験と全国の産婦人科を見学して回り、医療とは無縁と思っていた「サービス」の大切さを学んだとの事でした。関東圏で産婦人科として勝負してみたいという思いがあり、川越市という全く無縁の地で、排他的な雰囲気がある中でのスタート、逆風の中でも時代の流れを常にキャッチし、異業種とのコラボ、社員教育に力を入れるなど試行錯誤を続けた結果、患者様に信頼されるようになり、経営状況も良くなり、それと共に「私たちの居場所」ができてきたとのこと。今では、最初の苦労は大変ありがたかったと思えるようになり、感謝を込めて地域貢献、社会貢献にも力を入れているとのこと。

安心・安全な医療の提供、300人の雇用を守る病院経営という根底の理念は変えず、時代に沿って常に進化し変え続けるという報告からは学びが沢山ありました。自社でも変えてはいけないこと、変えるべきものを常に見極め、常に進化することを実践します。(大宮南地区会 岩見真里子 記)

各地区会で開催された例会をご紹介します。

【大宮3地区合同 2月例会】

地元埼玉とともに歩み続ける、やきとりひびき ～経営者って何?会社って何?地域って何?～ 地域発展の貢献し成長する会社経営

報告者: 日疋好春氏(株ひびき 代表取締役)



平成30年度の大宮3地区合同2月例会は、全国だけでなく海外へも展開されている、やきとりひびきの地元愛を持ち地域の発展に貢献しながら成長して行く経営実践報告を伺いました。

日疋氏は実家が莫大な謝金を背負ってしまった事から辛く厳しい青年期を過ごされながらも現状から脱出への強い志を持ち、手伝いやアルバイトなどを通して「小遣い稼ぎ」と「仕事の取引」の違いである『信用と信頼関係』の大切さを学ばれ、信念を持ち決意し決断し継続する事で少しづつ「埼玉名物のみそだれやきとり」を世に出し「食の安全・医食同源・団欒コミュニケーション」等に取り組み、自社を支えてくださった地域の方々へ感謝して地元のオール埼玉(農業・商業・工業)を発展させ地域の子供たちには恥じる事のない背中を見せ、地元根付く仕事をして行くというブレない思いを貫く、「有言実行」の力強い経営者の姿を見せて頂きました。

その後の懇親会では「ひびき庵」で美味しいやきとりと、

興味深いお話で又元気をもらいました。

(大宮中央地区会 鈴木光義 記)

【東部地区会 2月例会】

地域が元気なら自社も良くなる! ～自社と地域で築く次の時代～

報告者: 伊藤 健太氏
(株ウェイビー 代表取締役 徳島大学客員教授)



2月20日、地域づくり委員会担当の2月例会が中央市民会館にて開催されました。タイトルは「自社と地域で築く次の時代」。外部講師として(株)ウェイビー 代表取締役 伊藤健太氏をお招きし、地域×起業家の成功についてご講演頂きました。

内容は大変刺激的なもので、60名を超える参加者は伊藤氏のお話にくぎ付け。とくに「地域に必要なのは新しいものを創り出せる人」という言葉が心に響きました。今、社会は恐ろしい速さで変化しています。情報の深さと共有の速度が以前とは全く違い、今までの「仕事のしぐみ」が通用しなくなってきています。そんな中、新しいものを生み出したり、課題を見つけたりすることがとても苦手な日本人がどうやってイノベーションを起こしていけばよいのかについて、わかりやすい例えを出しながら説明をしていただきました。

その後のグループ討論では、自分の住んでいる地域の好

きなところ・良くないと思うところ、地域がどのように変わったらいのか、そのために自分にどんなことができるかということについて話し合いました。普段改めて考えないような内容である為、むずかしいと感じることもありました。大変盛り上がり、地元に着し、多様な働き方ができる職場をつくるなど、地域をよりよくするための具体的な取り組みが出されたところもありました。

地域活性と一言にいってもなかなか順調に進むことがありません。そのためにはまず地域活性をなぜ行うかという目的を明確化し、周囲の人たちと徹底的に議論をすることがとても大切であること、何かをつくり出そうと思っている人を応援し、孤立させない環境を意識してつくっていく事が既に経営者である我々の役目のひとつなのではないかと思ひ至りました。

地元というあらたなマーケットから長く支持されるような企業になるにはどうしたら良いか、これからじっくりと取り組んでいきたいと思う例会でした。(吉田理子 記)

【川越地区会 2月例会】

あなたは社員のことを理解していますか？
～自主性・主体性を持って仕事をしてもらえる
経営をするために～

報告者：下村信子氏 下村信子社会保険労務士事務所 所長



平成31年2月19日(火)ウェスタ川越に於いて、川越地区会2月例会が開催されました。

報告者の下村信子氏にお願いをし、コミュニケーション・チームづくりの専門家として、活躍してきた事例と合わせて中小企業の経営者としての経験も交えて報告をしていただきました。

社員さんが、主体性をもって仕事をしてもらうために経営者は何をしたらよいかを議論しました。

下村氏は、難しい言葉を使わず物事の本質に迫る専門家と呼ばれるのに相応しい人です。話に引き込まれ、事例報告では自社だったらどうだったかと自然に考えることができました。

G討論では、下村氏の温めてくれた『場』の力によって、いつも以上に率直に会社の困りごと・悩み事を話すことができました。

困りごとの解決には信頼関係の構築と『場づくり』が大切なのだと、改めて気付かされた例会となりました。

(大沼崇 記)

【埼玉・彩北地区会合同 2月例会】

「社長の前に人として・成功より成幸」
～自己・会社・地域の発展に繋がる人としての習慣づくり～

報告者：鈴木 美緒氏 (株)grain grain 代表取締役(東部地区会)



平成31年2月18日に、埼玉・彩北地区会の合同2月例会が開催されました。

今回は、通常の例会とは趣向を変えて、インタビュアーと報告者による対話形式による例会でした。報告者は、東部地区会員(株)グレイングレインの鈴木美緒氏です。

今年の埼玉例会づくり委員会は、「チャレンジしている若い経営者から刺激をもらおう」を掲げ、男女1名ずつのパワーあふれる経営者に報告をお願いしております。美緒さんのパワーあふれる、前向きな活躍ぶりにふれることにより、そして、今一度、自分自身の経営者としての幸せを考察してもらうことが狙いです。「幸せ」という漠然としたテーマであるにも関わらず、グループ長のリードのおかげで、各グループの討論は、それぞれ特色のある展開がなされました。自身の幸せを考えることで、何のために経営しているのか、従業員の幸せ、家族の幸せ、地域貢献についても認識を新たにできたことと思います。今回の例会は彩北地区会との今期最後の合同例会となります。彩北地区会の皆様と協力して例会を盛り上げることができました。

例会後の懇親会にもたくさんの方がご参加くださいました。

最後に、経営者が、いつも機嫌良く、笑顔を絶やさないことが、経営者自身、会社、社員、地域の幸せへの近道のようなのです。(和泉紀子 記)

埼玉中小企業家同友会 第46回 定時総会

「人間尊重の経営」と「強靱な経営体質の企業」
で豊かな地域づくりに貢献しよう
～影響力を持ち誇り高い経営者団体として
仲間を迎え広げよう

日時：2019年4月20日(土)

■ 第1部 総会 / 14:00～15:40

■ 第2部 記念講演 / 16:00～17:50

■ 第3部 懇親会 / 18:10～19:40

■ 会場：新都心ビジネス交流プラザ4階
さいたま市中央区上落合2-3-2

設営：中部地区会

《記念講演》

孤独で戦う企業家よりも はるかに強い
連帯をめざして～ひとりぼっちにさせない～

田浦 通 氏

(株)シティーライン 代表取締役

(一社)福岡県中小企業家同友会 代表理事

【創業】1983年10月 【資本金】2500万円

【年商】20億 【事業内容】納品代行 物流管理代行

【社員数】125名(パート職員含む)



※参加のお申し込みは、doyuよりお願いします！

埼玉中小企業家同友会 2018年度 第6回理事会議事録

《2018年度スローガン》高い志を持って、企業づくり、地域づくり、同友会づくりへ挑もう
女全交の成功を力に1200名達成を!!

◆日時:2019年2月15日(金)18:30～20:30

◆会場:新都心ビジネス交流プラザ4F

◆司会・議長:沼田副代表理事

◆議事録署名者:小山副代表理事

◆議事録作成者:清水事務局長

・太田代表理事挨拶

「地区会長会議に参加しましたが同じ立場の方が課題を持ち寄りて話し合っていて大変有意義だと思いました。地区会長が主体的に話し合いに臨む姿勢は理事会にも通じる話です。理事会も主体性と責任を持って協議審議に臨みましょう」

I. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

審議事項

1. 障害者問題全国交流会(障全交)の埼玉招致(開催)について

1月25日理事会において障全交を2021年に埼玉同友会設営で開催したいとの提案があり2月15日の第6回理事会で協議したが賛否両論の為審議後承認までは至らず。討議のなかで太田代表理事よりもっと十分な議論をするべきではないかとの提案があり、理事で再度、話し合いの機会を設ける事となった。

・日程:2019年3月11日(月)18:30より

・会場:新都心ビジネス交流プラザ4階

(主な意見)

- ・障害者雇用推進委員会の開催に向けての思いをもっと聞きたい
- ・開催は賛成、埼玉の偉人(塙保己一)を知らしめていく
- ・時期尚早、埼玉の会員200名を集めるのはむずかしい
- ・開催した場合は全面的に応援していく
- ・次に控えている中同協定時総会の事も視野に入れて討議したらどうか
- ・定時総会までの準備期間を考えると障全交を開催しなくてはいけないのではないか
- ・もっと早く障害者雇用をして頂きたい為に開催したい
- ・判断資料が少ないが開催するのなら無理のない範囲で開催したらどうか
- ・討論会のようなものを開催したらどうか
- ・中同協定時総会は埼玉で必ず実施しなくてはならない

協議事項

1. 第46回定時総会について

(報告者:米山副代表理事・沼田副代表理事・清水)

第46回定時総会を2019年4月20日(土)に新都心ビジネス交流プラザ4階で中部地区会の設営で第一部は総会、第二部は記念講演、第三部は懇親会の3部構成で開催する。記念講演は福岡同友会代表理事の田浦氏。打ち合わせは3月に実施。続いて2018年度活動総括・2019年度活動方針案、2019年度組織図、2019年度予算案の検討、2019年度活動スケジュールについて質疑・討議した。

- ・質問:組織図の中の環境部会がなくなっているが→活動休止状態の為に記載していない。
- ・質問:未来戦略会議とは→新地区の設立と増強の戦略的支援の為に、会議を設置したが今は組織強化支援室が担当しているので実質影響力が少なくなっている。
- ・質問:専務理事(会及び事務局担当理事)は→現在空席
- ・質問:昨年実施した入会還元金が予算組みしていないが→現在は予算組みしていないが再度、検討する。
- ・質問:委員会予算が増になったのは→委員長会議で今後運動の為に増額要望が出たので予算組みした。

報告事項

1. 全県経営研究集会実行委員会報告(報告者:小林副代表理事)

例年と異なり今年度は実行委員会を解散しないで次年度の開催に向けて議論をし、より良い全研を開催する事となった。また分科会、基調講演の募集が立ち上がったことも報告された。

2. 政策問題プロジェクトより(報告者:新井理事)

3月に2018年度第2回目の景況調査を実施、今回は集計結果を早く分析する為、回答期限は3月9日とする。これにより早く会員に結果を伝えるようにする。また、「中小企業の日」、「中小企業憲章」等は会内周知の為、政策委員会になった暁には学習会を開催したい。委員会の活性化を図る為、県内全地区が政策委員会に参加して頂くようにしていきたい。

3. 青年部入部制度及び2030VISION策定プロジェクト

メンバー募集について(報告者:大森氏)

青年部設立より6年が経過して運営体制も整ったことから2019年度より現在の自動登録制から入部制にする。

これは主体者意識の向上による埼玉同友会の活性化に繋がることとなる為に実施する。また中同協青年部の2030VISION策定プロジェクトにメンバーを輩出する。

4. 次年度経営指針セミナーの案内及び

「企業変革支援プログラム」のアンケートについて

(報告者:吉田副代表理事)

6月11日より2019年度経営指針づくりセミナーを開講する。今年度は定員を24名としたい。募集要項に記載しているが参加申込の要項が変わっているので確認して応募して下さい。また、中同協より企業変革支援プログラムの活用、改訂の調査がきているので協力をお願いしたい。

5. 理事候補研修会について(報告者:高橋正副代表理事)

3月23日に2019年度理事候補の方に向けて研修会を実施します。「理事とは」を中心に3部構成で第一部は中同協吉顧問、第二部は小山副代表理事、第三部は太田代表理事の報告の3部構成で開催する。次年度理事候補者は是非参加して頂きたい。

6. 地区会長会議について(報告者:小林副代表理事)

2月14日に地区会長会議を開催したが今回は持ち寄り議題の自由討議を行ったところ、活発な意見が出た。今後も有意義な会議にして行きたい。

7. 2019年東日本地区障害者問題交流会について

(報告者:赤塚理事)

2月28日に新都心ビジネス交流プラザにて委員会、オープン学習会を兼ねて開催する。現在約100名を越える参加者になって来ている(埼玉は27名)。今回の交流会に参加していただければ障全交の開催意義も見てくると思うので是非参加して頂きたい。

8. ファムオープン学習会について(報告者:大原理事)

3月22日に新都心ビジネス交流プラザにて開催する。「これからの時代に合った組織づくりとは」という内容で神奈川同友会副代表理事の(株)エイチ・エス・エー代表取締役 田中勉氏に報告して頂くので是非参加して頂きたい。

9. その他

(1) 埼玉同友会ゴルフコンペについて

4月実施予定 幹事から個々に連絡予定

企業訪問記

(株)キットセイコー

代表取締役 田邊弘栄氏〈彩北地区会〉

一本のねじに載せた想い～プライド～

2018年11月に設立した新地区、彩北地区会で宇宙を視野にいて活躍している特殊ネジのオーダーメイド加工を営む企業をご紹介します。



田邊氏は大学(理学部化学科)を卒業後に外部の機械メーカーにて2年間の修行後キットセイコーに3代目として入社しました。

同社は私たちの身近にある様々なモノに使われている『ねじ』をオーダーメイドで1本から製作しています。少量多品種生産を得意とし、全てがオーダーメイド、一般には市場に無いチタン等の材質を使用し、人工衛星・原子力・鉄道・半導体部品・F1(自動車レース)と長年にわたり使用されるなど、品質・精度・耐久性等高く評価され、日本の人工衛星では70機にキットセイコーの特殊ネジが搭載されています。

最近では人工探査衛星はやぶさ2号のプロジェクトに参画しエンジンや放射線計測装置など各種装置に約500本のねじを搭載、実験用を含めると2000本を供給しています。



人工衛星用のねじを請け負い始めた当初は人工衛星がまだ普及しておらず、人工衛星に搭載されるとは知らずに「ねじなら製作できる」と何でもやってみる企業風土で取組んだそうです。今後はロボットや医療・福祉、スポーツ等の分野等へのビジョンをもっています。

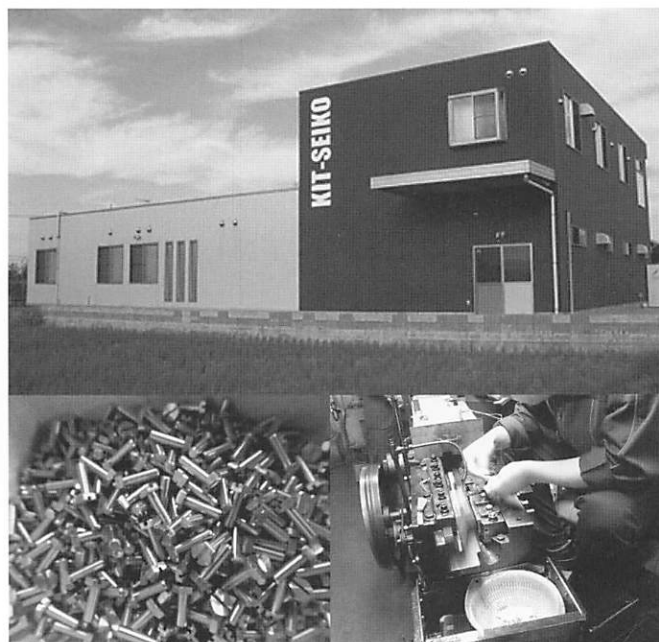
その一方、朝礼やKC活動(Keep Clean)、QCサークル活動、コマ大戦参戦、就業時間中のレクリエーション大会や、ワークライフバランス、配偶者の誕生日に特別休暇を付与す



る等、家族を一番に考え居心地の良い場づくりを心がけ実践し、採用については将来を見据え就職しづらい時期にあえて採用して、長く働いてもらいたいという想いから、子育て世代の女性パート職員を積極的に採用しています。又、定年を迎えた熟練社員を再雇用しマイスターと位置づけ、その熟練工の高度技術を承継する仕組みを取り入れるなど、イキイキと働ける職場環境がそこにはありました。まさに「プライド」を感じさせる企業でした。

(入会:2018年11月15日)

(事務局 大藪博史)



会社概要

羽生市上手子林280
 設立:1940年2月15日
 資本金:1200万円
 従業員:正規12名、PA13名
 事業概要:特殊ネジのオーダーメイド加工
 URL:<http://www.kitseiko.co.jp>

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (2/1~3/1)



加藤寛人
株DBF
むさし野地区会
内装、リフォーム工事、塗装工事、電気工事、水廻り工事、外構工事、屋根工事、ハウスクリーニング



柴田慎一朗
株エフ
大宮南地区会
建築、建設、リフォーム、空調機器、メンテナンス



村田敬吾
南村田商会
むさし野地区会
ビルメンテナンス、店舗清掃、ハウスクリーニング、エアコンクリーニング、他清掃全般



浪川賢治
株川島屋不動産
むさし野地区会
土地、建物の売買および仲介、賃貸、管理、損害保険代理業



伊東篤
特定非営利活動法人 桃園
さくら地区会
通所介護事業所、居宅介護支援事業



木村亮太
T.T彩たま株
浦和地区会
2018/10より開幕した世界最高峰の卓球新リーグリーグに参戦しているプロ卓球チームの運営



村串大輔
株タイムラン
むさし野地区会
消防設備の設置・改修・点検



金子俊光
株戸塚重量
東彩地区会
工作機械、重量物の移設、工場内レイアウト変更

会員information

《住所・TEL・FAX 変更》

東彩地区会 (有)昇栄興業 伊藤健会員
〒342-0017 埼玉県吉川市上笹塚 1748-1
TEL : 048-940-7944
FAX : 048-940-7954

《社名変更》

中部地区会 埼玉チェスコム株 沢木英昌会員
(株)チェイス・コミュニケーションズへ

《住所・FAX 変更》

大宮中央地区会 BBO産業株 菅谷文君会員
〒337-0031 埼玉県さいたま市見沼区笹丸 167
FAX : 048-797-9396

◆ 訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

北部地区会 板垣秀行会員のご尊父が逝去されました。
川越地区会 内田茂会員のご母堂が逝去されました。

同友会日誌 2月1日~28日

- 1日(金) 正副代表理事会議、川越例会
- 4日(月) さくら幹事会、東彩幹事会、埼玉葛幹事会
- 5日(火) 川口幹事会、川越幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 6日(水) むさし野幹事会、北部幹事会、中部幹事会、浦和幹事会
- 7日(木) 政策プロジェクト会議、議案検討プロジェクト会議、東部幹事会、戸田・蕨幹事会
- 8日(金) 共同求人総括・参加者会議、仕事づくり委員会、大宮東幹事会、大宮中央幹事会
- 12日(火) 障害者雇用推進委員会
- 13日(水) 戸田・蕨例会、広報委員会
- 14日(木) 経営労働委員会、第4回地区会長会議
- 15日(金) 正副代表理事会議、第6回理事会
- 18日(月) さくら例会、東彩例会、埼玉葛・彩北合同例会
- 19日(火) 川越例会、川口例会
- 20日(水) 東部例会、浦和例会、西部例会、むさし野例会
- 25日(月) 大宮3地区合同例会、彩北幹事会+勉強会
- 26日(火) 社員教育委員会オープン学習会、青年部幹事会
- 27日(水) 新入会員オリエンテーション、ファミ学習会・ファミミーティング、大宮ブロック会議
- 28日(木) 障害者委員会オープン学習会、全研実行委員会

会員数

2019年3月7日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	47	大 宮 南	89	北 部	38
戸 田・蕨	53	西 部	43	さ くら	84
浦 和	83	むさし野	128	川 越	84
大 宮 東	41	東 部	131	東 彩	56
大宮中央	38	中 部	51	彩 北	17
		埼 葛	57	計	1040

編集後記

先日、“街歩き”の帰りに駅に着くと、まだ明るいので遠回りをして近くの商店街を歩いてみた。途中、久しぶりに知り合いの酒屋さんA商店を覗いてみると景色が違っていった。“角打ち”をしているのである。近所で“地ビールの店”を開いたというのは聞いていたが、酒屋さんの方で“角打ち”を始めた事は知らなかった。店の中に入ってみると店内は洒落ていて、奥の右側には角打ちの店では珍しい座席のある小部屋まであった。

若いお客さんが多く、角打ちというより日本酒Barである。灘の酒2種類と酒盗味噌チーズを頂いて20分くらいで店を出た。普通、角打ちの店はツマミがあまりうまくないが、この店は安くて美味しい。さすがAさんはよく勉強しているなど関心してしまった。

(浦和地区会 小林吉文 記)

「地元地域に根ざした身近な相談役を目指して」



サポートをしています。今後はさらに専門性を高め、地元根付いたサービスで貢献できるよう目指していきたいです。

【同友会との出会い】

独立時に事務所をやって何をやっていいかわからない頃、同時に仙台で事務所をやっていた友人より「同友会へ入れ!」と言われ即入会しました。また入会後間もなく経営指針づくりセミナーを受講し、経営指針の成文化と合わせ、仕事の方向性が明確になり受講して良かったといえます。

同友会の良いところとして、形式にこだわらなく経営者の感覚を学べ、会員の意識の高さを感じたとのこと。

「なぜ?」「どうして?」と考えるくせを同友会でのスタンスとし、目的意識をはっきり、取捨選択をしっかりと話します。会の参加の基本に、学びと楽しいとの両立と話す細井氏ですが、各活動が「事務的」「こなす」とならないよう「楽しい」が根本で大切な点と話しています。

【埼玉地区会】

現在、埼玉地区会内外で大活躍の細井氏ですが、入会間もない頃は右も左もわからず苦勞も多くあったそうです。1年目より例会、幹事会と参加し2年目には「仲間づくり委員会」委員長に抜擢され、女性経営者クラブ「ファミ」との合同例会を担当したのをきっかけに「ファミ」の活動へも参加と活動範囲を地区外にも広げていきました。

責任感がある性格と持ち前の積極性に合わせ、何事にも一生懸命取り組む姿勢より、もう1年仲間づくり委員長をつとめた後に、地区幹事長となり現在にいたります。

地区例会では、報告やグループ討論にも工夫も必要と考えていて、何でも言いたいことが「言える」「言ってもらえる」雰囲気づくりを、今後も守っていききたいと細井氏は話します。

【プライベートと今後】

食歩歩きが趣味と話す細井氏、最近一番おもしろかったのは、博多の『あら鍋』との事です。

まず、仕事をもっと知ってもらえる努力が必要で宣伝広告での工夫や、新チャンネルの開拓、雇用できる態勢づくり、弁護士との連携などを今後の課題とあげています。そして事務所の拡張を念頭に、今年はプライベートでのさらなる充実を笑顔で話す細井氏。最近の愛読書を二冊と、最後に事務所裏にある立派な鳥居とお稲荷様をみせていただきました。

(埼玉地区会広報委員 松本賢二 記)

【サラリーマンになるのが当然と思っていた高校時代から】

大学卒業後、新聞社に入社し、販売局の埼玉担当でした。新聞社での仕事は休みも少なく身体的に厳しかったといえます。そんな販売の仕事に法律に触れ興味を持ち「理屈でご飯が食べられるなら」と半年考え、約4年で退社以後、弁護士を目指し勉強をしましたが10年以上の間、司法試験に幾度チャレンジするも合格できませんでした。

そんな中、友人よりパラリーガルの誘いがあり、広島法律事務所2年、大阪支店で1年半働き、40歳も近づいてきた頃に、法科大学在学中に合格していた行政書士として地元古河にて独立を決意しました。

【雪華法務事務所】

独立当初は目の前のことで一生懸命でしたが、2年目辺りから自身の業務の分析が、冷静にできるようになってきました。

業務内容は①中小企業のサポートとして、法人設立、契約書の作成から見直し、債権回収、次世代への承継問題対策としての民事信託などを中心に、②個人のお客様には相続、遺言、家族信託などを中心にご相談内容に合わせたご提案と



最近の愛読書

細井 研二

ほそい けんじ

埼玉地区会
雪華法務事務所 代表
茨城県古河市中央町1-8-5
TEL:0280-33-3685
FAX:0280-33-3686
<https://itp.ne.jp/info/>
082651620137481360/shop/

埼玉同友会 広報委員

委員長 藤元天美	委員 川口 高倉光俊	大宮東 安形智昭	むさし野 刘田友枝	北部 東 禎章	制作担当 杉込博久
副委員長 酒井 啓	戸田・藤 石井孝徳	大宮中央 柴田大智	東部 宇野碧留	さくら 池田恵津子	印刷・製本 加藤早苗
小林吉文	浦 和 三友哲哉	大宮南 加藤早苗	中部 矢澤敦臣	川越 小田 明	事務局 古川佳子
鈴木一朗	安藤洋泰 大森靖之	西部 印牧政彦	埼玉 松本賢二	東 彩 若林清治	